

H27 年度 全国軽費老人ホーム協議会 事業報告

平成 27 年度は、日本総研受託の老人保健健康増進等事業、「養護老人ホーム・軽費老人ホーム職員の人材育成のあり方に関する調査研究事業の委員会、作業部会に参画した。その他、消費税増に絡む支出額の増加区分に相当する生活費本人負担、事務費交付金の増額について、全国レベルの運動を展開しながら、ブロック、都道府県、中核都市等への働きかけを強化した。

また、本年度も「生活支援を基盤にした利用者主体のソーシャルワークモデル構築に向けて」のテーマの下、エンワメント、ストレングス視点、アウトリーチ等のソーシャルワーク実践、地域貢献という内容の全国 8 ブロック代表による、実践発表大会を実施した。添付のように総務広報委員会、企画研修委員会、調査研究委員会、特別委員会を開催して、本会業務を推進した。

以下、具体的な平成27年度事業内容について報告する。

全軽協ビジョンへの主な取り組みと成果

◎消費税増税への対応について

<取り組み経緯>

平成 25 年 6 月 役員勉強会 テーマ「社会保障・税の一体改革に伴う消費税upについて」の実施

平成 25 年 7 月 消費税増税にかかる影響調査票の原案作成 役員において調査実施

平成 25 年 11 月 厚生労働大臣宛要望書原案作成ならびに都道府県知事宛要望書原案作成

平成 25 年 12 月 5 日付 消費税増税への対応**要望書**(全軽協発第 13120501)を厚生労働大臣宛に**提出**
<成 果>

平成 26 年 3 月 27 日付事務連絡(厚生労働省老健局高齢者支援課から各都道府県・指定都市・中核市・養護老人ホーム・軽費老人ホーム担当課(室)あて発出)『消費税率の引き上げに伴う「老人保健措置費支弁基準」及び「軽費老人ホーム利用料等取扱基準」の取扱いについて』が発信される

消費税増税への各都道府県対応 決定状況一覧

20160527 現在 全国軽費老人ホーム協議会調べ

| NO | ブロック | 都道府県・政令・ほか | 施行日 | 生活費関係 | 事務費関係 | 備考 |
|----|------|------------|----------|-------|----------|---|
| 1 | 北海道 | 北海道 | 27. 4. 1 | ○ | × | 暖房費の期間が10~4月と2カ月延長となる |
| 2 | 東北 | 秋田市 | 26. 4. 1 | ○ | × | 秋田市は政令市ではないが、秋田県の取扱いとも異なる |
| 3 | | 宮城県 | 28. 4. 1 | ○ | ○ | 事務費本人徴収額も消費税率アップ分の改定 仙台市は改定されていない |
| 4 | | 福島県 | 28. 4. 1 | ○ | ○ | 生活費は消費税増額対応。事務費補助金は地方 交付税算定基礎額増加率の基本額に上乘せ |
| 5 | | 茨城県 | 26. 4. 1 | ○ | ○ | 28 年 4 月一般事務費単価 108900 円を 109800 円に 900 円アップ |
| 6 | 関東 | 埼玉県 | 26. 4. 1 | ○ | × | |
| 7 | | 栃木県 | 26. 4. 1 | ○ | × | |
| 8 | | 静岡県 | 26. 4. 1 | ○ | ○27. 4改定 | 27 年 4 月事務費単価増額分と同様改定 |

| | | | | | | |
|----|----|------|------------|---------|-----------|------------------------------------|
| 9 | 関東 | 静岡市 | 26. 4. 1 | ○ | × | 静岡県政令市 |
| 10 | | 長野県 | 26. 4. 1 | ○ | ○27. 4改定 | |
| 11 | | 長野市 | 26. 4. 1 | ○ | ○27. 4改定 | 長野県中核市 |
| 12 | | 群馬県 | 26. 4. 1 | ○ | ○ | |
| 13 | | 高崎市 | 28. 4. 1 | ○ | ○ | 群馬県中核市 |
| 14 | | 神奈川県 | 27. 4. 1 | ○ | ○ | 28年4月事務費本人徴収額も消費税率アップ分の改定 |
| 15 | | 東京都 | 28. 4. 1 | ○ | × | |
| | | 千葉県 | 28. 4. 1 | ○ | ○ | |
| 16 | 東海 | 三重県 | 26. 7. 1 | ○ | × | |
| 17 | | 石川県 | 27. 4. 1 | ○ | × | |
| 18 | | 福井県 | 27. 4. 1 | ○ | × | |
| 19 | | 岐阜県 | 27. 4. 1 | ○ | × | |
| 20 | | 愛知県 | 27. 4. 1 | ○ | × | |
| 21 | 近畿 | 兵庫県 | 26. 4. 1 | ○ | ○27. 4改定 | 27年4月事務費本人徴収額も事務費と同様改定 |
| 22 | | 滋賀県 | 27. 4. 1 | ○ | ○ | |
| 23 | | 和歌山県 | 27. 4. 1 | ○ | × | |
| 24 | | 大阪府 | 28. 4. 1 | ○ | × | |
| 25 | 中国 | 山口県 | 26. 4. 1 | ○ | ○ | |
| 26 | | 鳥取県 | 26. 10. 1 | ○ | 27. 4一部改定 | 事務費一部改定とはケアハウスのみ |
| 27 | | 島根県 | 26. 10. 30 | ○ | ○ | 26年4月から適用 |
| 28 | | 広島県 | 27. 1. 1 | ○ | ○ | 事務費本人徴収額も100～1100増額 |
| | | | 27. 4. 1 | 注) | | 注)生活費上限額の見直し+1000円まで可能 |
| 29 | | 岡山県 | 27. 3. 1 | ○ | ○ | 事務費補助金はH27年度から適用。事務費本人徴収額も補助金と同時改定 |
| 30 | 四国 | 香川県 | 26. 9. 1 | ○ | ○27. 4改定 | |
| 31 | | 高松市 | 26. 9. 1 | ○ | ○27. 4改定 | 香川県中核市 |
| 32 | | 愛媛県 | 26. 12. 1 | ○ | ○27. 4改定 | 27年4月事務費本人徴収額も消費税率アップ分の改定 |
| 33 | | 高知県 | 26. 4. 1 | ○26. 11 | ○ | 事務費は26. 4遡り適用、生活費関連が11月から |
| 34 | | 佐賀県 | 26. 4. 1 | ○ | ○ | 事務費本人徴収については27. 4～改定 |
| 35 | 九州 | 福岡県 | 27. 4. 1 | ○ | ○ | |
| 36 | | 久留米市 | 27. 7. 1 | ○ | ○ | 福岡県中核市 |
| 37 | | 北九州市 | 27. 10. 1 | ○ | × | 福岡県政令市 |
| 38 | | 福岡市 | 28. 4. 1 | ○ | × | 福岡県政令市 |

| | | | | | | |
|----|----|------|----------|---|---|--------|
| 39 | 九州 | 沖縄県 | 27. 7. 1 | × | ○ | |
| 40 | | 長崎県 | 28. 4. 1 | ○ | ○ | |
| 41 | | 佐世保市 | 28. 4. 1 | ○ | ○ | 長崎県中核市 |

※今後も都道府県等の対応状況について継続して見守り情報収集活動を行う

○社員拡大 新規入会 15 施設(総数 527 施設)

○ケアハウス 20 年(管理費)問題については、平成 20 年 5 月 30 日老発第 0530003 号「軽費老人ホームの利用料等に係る取り扱い指針について」別紙軽費老人ホーム利用料等取扱基準の第 1 軽費老人ホームの利用料等の 4 居住に要する費用(月額)の(1)居住に要する費用の設定及び支払い方式のウにより、解決済みとする(巻末参考資料)。

○全国社会福祉法人経営者協議会、高齢者福祉事業経営委員会に代表が専門委員として参加(6 年目)

| | | |
|-------|-----------|--|
| 第 1 回 | 7 月 2 日 | (1) 平成 27 年度の取り組みについて ① 平成 27 年度介護報酬改定による影響把握 ② 介護保険制度に関する課題整理・提言のまとめ ③ 高齢者福祉事業モデルの検討・提案 (2) 全国大会分科会プログラムについて 第 34 回大会(平成 27 年 9 月 17 日)分科会テーマ案 |
| 作業部会 | 10 月 13 日 | (1) 介護サービスの質の評価について (2) 人材確保の取り組みについて |
| 第 2 回 | 11 月 25 日 | (1) 各作業部会の検討状況について ① 介護の質等検討作業部会 ② 事業モデル等検討作業部会 ③ 医療介護施策担当官との意見交換 (2) 高齢者福祉事業経営セミナーの企画について (3) その他 ① 認定介護福祉士について ② 介護給付費分科会の検討状況について |
| 作業部会 | 12 月 8 日 | (1) 平成 27 年度報酬改定に向けた対応について (2) 作業委員会、外部委員会の検討状況について (3) 全国大会・分科会について (4) 尾形裕也氏のレクチャー 「医地域包括ケアシステム構築における社会福祉法人の役割—地域医療構想を通じた期待と課題」 |
| 第 3 回 | 12 月 22 日 | (1) 社会保障審議会介護給付費分科会委員会検討状況 (2) 本委員会、検討作業部会での取組 ① 経営協としての評価指標の提案 ② 介護の特性を踏まえた評価軸の検討 |

| | | |
|------------|-------|--|
| | | (3) 検討する評価項目について ① 評価すべき「ケア」の範囲 ② 評価軸の設定課題 |
| 作業部 会分会 | 1月25日 | (1) 第三者評価基準ガイドライン改定(案)中の「養護・軽費老人ホーム版」(案)について評価軸検討作業 ※評価軸が介護保険サービス軸になっているため修正を求め、修正案を2月にサンプリング調査 |
| 第4回 | 3月3日 | (1) 介護の質等検討作業部会の検討状況 (2) 事業モデル等検討作業部会の検討状況 (3) 平成28年度事業について (4) 介護保健サービスにおける消費税の取扱いに関わるヒアリングへの対応 (5) その他 ・ 医療介護総合確保推進会議について ・ 外国人会議人材受入のあり方に関する検討会 ・ 日本総研老健事業(地域展開・養護軽費)の検討状況について |

○独立行政法人福祉医療機構軽費養護経営セミナー

独立行政法人福祉医療機構経営サポートセンターから全軽協川西理事長に依頼のあった軽費養護経営セミナー講演【東京会場】

演題:「これからの軽費老人ホームにおけるソーシャルワークの実践について」

日時:平成28年1月22日(金)12:40~13:50

会場:新霞が関ビル 全社協・灘尾ホール(東京都千代田区霞が関3-3-2)

I. 諸会議の開催

1 総会

| No | 期日・会場 | 議題及び講演 |
|----|--|--|
| 1 | 平成27年度 定時総会 26.6.29(月) 於:ホテルモント レ半蔵門 出席数96人 | <総会> ・平成26年度事業報告・決算について <講演> 1 『行政報告「社会福祉制度改革、介護施策、報酬改定の概要について」』 厚生労働省老健局高齢者支援課 課長 辺見 聡 氏 2 『平成26年度老健事業「軽費老人ホームにおける生活困窮者等による利用者支援のあり方に関する調査研究事業」について』 平成26年度厚労省老健事業委員長 昭和女子大学教授 北本佳子 氏 |

2 常任理事会

| 期日 | 会場 | 議題 |
|--------------------------------|-------|------------|
| 理事会前に開催(全4回) (6月2回, 8, 11月) | 理事会会場 | 理事会上程議案の審議 |

3 理事会(理事・監事・顧問・専門委員)

| No. | 期日・会場 | 議題 |
|-----|---|--|
| 1 | 27.6.3(水) 於：貸会議室プラザ八重洲北口 出席数 22 人 (理事 20、監事 2 顧問 1、委員長 1) | 審議事項・平成 26 年度事業報告・決算(案)について ・ホームページ全面改定(案)について ・平成 27 年度職員研修(案)について 報告事項・軽費老人ホーム(東京都)の事業廃止について ・全国経営協高齢者福祉事業経営委員会専門委員の推薦について |
| 2 | 27.6.29(月) 於：ホテルモントレ半蔵門 出席数 26 人 (理事 20、顧問 1 専門委員 5、) | 審議事項・総会の議案確認・進行について ・定時総会決算(見込み)について ・H27 年度全国職員研究会議会場コンペについて ・ホームページのリニューアルについて ・職員研修テキスト作成概要について 報告事項・今後の全軽協の取り組みについて |
| 3 | 27.8.18(火) 於：貸会議室プラザ八重洲北口 出席数 22 人 (理事 18、監事 2、 顧問 1、委員長 1) | 審議事項・職員研修(案)について ・平成 27 年度全国職員研究会議(案)について ・ホームページの全面改定(案)について ・H27 年度軽費老人ホーム・ケアハウス運営実態調査(案) について 報告事項・全国経営協高齢者福祉事業経営委員会より |
| 4 | 27.11.26(木) 於：TOC 有明コンベンションホール(4 階 会議室 1) 出席数 27 人 (理事 21、専門 委員 6) | 審議事項・運営規定の一部改定(案)について ・H28・29 年度各ブロック並びに全国役員体制について ・全国職員研究会議について ・嘆願書等の取り扱いについて 報告事項・各委員会報告(総務・企画・調査・特別) 会費入金状況について(総務) |

4 全国職員研究会議

| 期日・会場 | 主な内容 |
|-------------------------|--|
| 平成 27 年 11 月 26 日(木) | 1 日目(11 月 26 日) プログラム 13:30~19:30 ・主催者あいさつ 理事長 川西基雄 |

| | |
|---|--|
| <p>11月27日(金) 於：TOC 有明コ ンベンションホール(東京) 出席数 151 人</p> | <p>大会テーマ：「生活支援を基盤にした利用者主体のソーシャルワーク・モデル構築に向けて」 ～キーワード：エンパワメント、ストレングス視点、アウトリーチ等のソーシャルワークによる支援、地域貢献～</p> <p>◎全国8ブロック代表者による実践発表（発表順）</p> <p>◆九州B代表（福岡県）「生活困難者に対する生活支援の実践」 ～A氏の事例を通して～ 発表者：軽費ながかわ苑 生活相談員 重松直孝氏</p> <p>◆中国B代表（鳥取県）「地域との交流活動支援」 ～入所者N様と共に取り組んだ事例～ 発表者：軽費玉真園 主任生活相談員 夕永聖士氏 事務員 吉田朋弘</p> <p>◆四国B代表（高知県）「交流で始めた地域貢献」 発表者：軽費あかねの里 介護職員 藤原桂子氏</p> <p>◆近畿大阪B代表（大阪府）「包括支援センターからの緊急入所依頼に対応したケース」 ～多問題を抱えた要介護4の方が、軽費老人ホームでの生活を継続できている個別ケアの報告～ 発表者：軽費延命荘 施設長 小名京子氏 生活相談員 清水慎之介氏</p> <p>◆東海北陸B代表（愛知県）「介護予防教室から広がる地域交流と地域貢献」 発表者：軽費一期一会荘 生活相談員 伊藤 彰氏</p> <p>◆関東B代表（東京都）「自由を守るための試み」 ～「ちょっとそこまで」身分証明書の運用を通じて見えてきたもの～ 発表者：ケアハウス浴風会 生活相談員 隈本真司氏</p> <p>◆東北B代表（山形県）「蔵王上野地区の地域貢献活動の取り組み」 発表者：軽費蔵王やすらぎの里 生活相談員 佐藤みかる氏</p> <p>◆北海道B代表（北海道）「軽費老人ホームの入居者対象者とは？」 ～Kさんの入居相談より学んだこと～ 発表者：軽費アドネス園 主任生活相談員 大平貢平氏</p> <p>◎情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主賓挨拶 社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷良成氏 ・来賓挨拶 厚生労働省 老健局 高齢者支援課長 佐藤守孝氏 <p>2日目（11月27日）プログラム 9：00～12：30</p> <p>◎職員セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演Ⅰ テーマ：「福祉で描く地方創生」 ～生涯活躍のまちで創る新しい住民自治へ～ 講師：社会福祉法人 佛子園 理事長 雄谷良成氏 講演Ⅱ テーマ：「老年学の視点から考える通期包括ケア時代の施設の役割」 講師：桜美林大学大学院老年学研究科 教授 長田久雄氏 |
|---|--|

| | |
|--|--|
| | ◎審査発表 審査委員長 雄谷良成氏（社会福祉法人佛子園 理事長） 審査委員 平成 26 年度国庫事業作業部会選抜委員 里山樹 小山順子 西秀生（全国軽費老人ホーム協議会 理事） 三輪尚士（全国軽費老人ホーム協議会 専門委員） |
|--|--|

II.委員会活動

＜平成 26 年度 27 年度 各委員会名簿一覧＞

| 各種委員会 | | | | | | |
|--------------------------------|------|-------|----------|----------|----------|----------|
| 委員会名 | | 委員長名 | 委員 (順不問) | | | |
| 総務広報委員会 | | 徳山里子 | 永原澄弘(副) | 矢迫義法 | 山本 晃 | 中川勝喜 |
| | | | 堀之内康弘 | 金城和郎 | 重松直孝(公募) | 富永賢治(公募) |
| 企画研修委員会 | | 保岡伸聡 | 三浦 豊(副) | 佐藤公一 | 大石正信 | 鈴木 均 |
| | | | 西川雅浩 | 窪田元気(公募) | 松井由博(公募) | |
| 調査研究委員会 | | 小岩井雅彦 | 三島達也(副) | 西 秀生 | 浜田美奈子 | 木下朝子 |
| | | | 小山順子 | 三津井和夫 | 坂内憲之 | 内田雅士 |
| | | | 齊藤一郎 | | | |
| 健康増進等事業 (26年度老人保健 特別委員会) | 委員会 | | 川西基雄 | | | |
| | 作業部会 | 里山 樹 | 浜田美奈子 | 西 秀生 | 小山順子 | 三輪尚士 |
| | | | 永原澄弘 | 朴 太元 | 三島達也 | |
| 事務局 | | 徳山里子 | | | | |

(1)総務広報委員会

i 振り返りと次年度への課題

全軽協執行体制の組織定着とHPのリニューアルと広報活動活性化を重点目標として委員会活動を展開した。

これからの活動については、一般社団法人全国軽費老人ホーム協議会が専門的知的集団として更なる活動を展開できるように、HPのさらなる活用に努める。

ii 会議開催と内容.

| No. | 開催月 | 開催場所 | 主な内容 |
|-----|-----|------|--|
| 1 | 4月 | 大阪 | 第1回HP委員会（選抜委員） HPリニューアルの骨子について |
| 2 | 4月 | 大阪 | 第1回総務委員会 H26年度決算（案）について・H26年度事業報告（案）について・ |

| | | | |
|---|----|----|---|
| | | | HPの改良について 6月定期総会プログラムについて |
| 3 | 6月 | 大阪 | 第2回HP委員会（選抜委員） HPの改良内容（有料広告等）の検討について |
| 4 | 9月 | 福岡 | 第2回総務委員会 組織改編について ほか |
| 5 | 1月 | 大阪 | 第3回総務委員会 H28年度事業計画と予算について・6月定期総会について・ホームページについて 委員の公募について ほか |
| 6 | 2月 | 大阪 | 第4回総務委員会 事業計画と予算について・事業報告と決算について 全国職員研究会議コンペについて ホームページについて ほか |

(2) 企画研修委員会

i 振り返りと次年度への課題

例年通り、全国職員研究会議の開催に向け尽力すると共に、平成27年度は、前年度と引き続き、新入職員や役職者への「基礎研修」事業の具体的な構築に向け注力した。

ii 会議開催と内容

| No. | 開催月 | 開催場所 | 主な内容 |
|-----|-----|------|--|
| 1 | 4月 | 東京 | ・27年度全国職員研究会議について ・基礎研修について |
| 2 | 8月 | 宮城 | ・27年度全国職員研究会議スケジュールについて ・基礎研修について |
| 3 | 10月 | 東京 | ・28年度事業計画について ・28年度予算（案）について ・基礎研修について |
| 4 | 12月 | 東京 | ・基礎研修について |
| 5 | 2月 | 徳島 | ・基礎研修について |

(3) 調査研究委員会

i 振り返りと次年度への課題

本年度は、軽費老人ホーム・ケアハウスが抱える今日的課題 約10項目をリストアップしその中でも重要な項目2点合わせて社員施設の満足度調査を目的として全国調査を実施しました。次年度に向かっては、本年度の内容を掘り下げる為の分析とフォロー調査、満足度調査の分析などともに、調査の集計が早くできる為の工夫も必要と考えています。

ii 会議開催と内容

| No. | 開催月 | 開催場所 | 主な内容 |
|-----|-----|------|------|
|-----|-----|------|------|

| | | | |
|---|----|-----|----------------------------------|
| 1 | 4月 | 札幌市 | ・3月に実施したサンプル調査を基に調査票と調査スケジュールの検討 |
| 2 | 2月 | 東京 | ・調査票のまとめ方（報告書）と今後の進め方の検討 |

(4)特別委員会

i 振り返りと次年度への課題

平成27年度老人保健健康増進等事業「養護老人ホーム及び軽費老人ホームの職員の人材育成のあり方に関する調査研究事業」について、財団法人に本総合研究所から作業部会委員の委嘱(平成27年7月15日～平成28年3月31日)を受け、全軽協の代表として参加

ii 会議開催と内容

【作業部会】

| No. | 開催月 | 開催場所 | 主な内容 |
|------------|--------|--------------|---|
| 第1回 | 9月30日 | 東京八重洲貸会議室プラザ | (1) 事業目的・内容について (2) アンケート調査項目の検討 (3) 意見交換 |
| 第2回 | 10月23日 | | (1) アンケート調査項目の検討 (2) ヒアリング調査に関する検討 |
| 第3回 | 12月11日 | | (1) 養護老人ホーム推薦施設のヒアリング ① 愛宕ゆうこうの郷(社福)清和園/京都 ② 蔵王長寿園(社福)山形県玉葉会/山形県上山市 ③ 盲養護千山荘(社福)六甲鶴寿園/神戸市 (2) 質疑と意見交換 |
| 第4回 | 12月25日 | | (1) 軽費老人ホーム推薦施設のヒアリング ① ケアプラザ而今(社福)蓬愛会/宇都宮市 ② つぐみのおかコモンズ(社福)寿考会/神奈川県 (2) 質疑と意見交換 |
| グループインタビュー | 1月28日 | | 軽費ケアハウス関係施設のグループインタビュー 北本委員インタビューにヒアリング外の情報提供 |
| 第5回 | 2月10日 | | 報告書の内容案の検討作業 |
| 第6回 | 3月14日 | | 報告書の最終まとめの確認作業 |

III.ブロック活動

(1)北海道ブロック

i 振り返りと次年度への課題

社員数は43施設となった。入会時期が職員研究会後に多いのは、研修や北海道ブロックの活動に同調していただけたものと評価したい。50施設を目標に進めていきたい。

研修については、目標の2回を上回り3回開催した。特に相談員研修会を中心に行った個別計画書のアセスメント作成は、グループワークを行いながら完成させ、今後北海道バージョンとして全道に発信していきたい。

通常の役員会の他、施設見学や全国大会への参加など活発に活動できたが、今後も学習と連帯で信頼感のある役員会を目指したい。

ii 会議(総会・役員会・その他)

| 会議名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|--------------|--|--|---|
| 定期総会 | 28年3月4日 | 札幌市 | 26年度事業報告・決算報告 27年度事業計画・予算計画 |
| 役員会 | 27年5月1日 27年8月5日 27年9月17日 27年9月27日 27年10月23日 27年12月25日 | 深川市 札幌市 札幌市 札幌市 札幌市 札幌市 | 年間予定表について 研究大会について 研究大会について 研究大会について 相談員研修会について 総会について |
| 役員施設見学会 | 27年9月7日 9月8日 | 函館方面 | 役員会同時 |
| 役員施設見学会 | 27年11月27日 | 東京都 | 全国大会終了後 |
| 個別支援計画書作成準備会 | 27年10月7日 11月2日 11月25日 12月15日 12月28日 | 札幌市 | アセスメント アセスメント アセスメント アセスメント 評価基準と取説作成 |

iii 研修

| 研修名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|---------|-------------------|-----|----------------------|
| 職員研究会 | 27年9月30日 | 札幌市 | 事例発表 講演 |
| 相談員研修会 | 27年11月5日 11月6日 | 札幌市 | 個別支援計画書作成 講演 施設見学 |
| 定期総会時研修 | 28年3月4日 | 札幌市 | 講演 |

(2)東北ブロック

i 振り返りと次年度への課題

平成27年度は、研修の充実を目標の一つに掲げ、講師を招いての役員研修と100名の参加を得て第29回東北ブロック軽費老人ホーム施設長及び職員研究大会を実施した。今後は、地域毎に

情報交換会・研修会を開催する等、軽費老人ホーム・ケアハウス間の更なる連携強化並びに職員研修の充実に努めていきたい。

ii 会議(総会・役員会・その他)

| 会議名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|--------|-----------|-----|---|
| 第1回役員会 | 27年5月29日 | 仙台市 | ○平成26年度事業報告・決算報告について ○平成27年度事業計画案・予算案について ○第29回東北ブロック大会について 他 |
| 総会 | 27年10月15日 | 秋田市 | 同上 |
| 第2回役員会 | 27年10月15日 | 秋田市 | ○全国実践発表大会での発表者選出について |

iii 研修

| 研修名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|------------------------------|-------------------|-----|--|
| 役員研修 | 27年5月29日 | 仙台市 | ※参加者：11名 ○テーマ：「社会福祉法人制度改革の中の軽費老人ホームについて」 講師：前厚生労働省東北厚生局福祉指導課課長 宮城県岩沼市総務部 参事 家田康典氏 |
| 第29回東北ブロック軽費老人ホーム施設長及び職員研究大会 | 27年10月15日 ～16日 | 秋田市 | ※参加者：100名 ○来賓挨拶：秋田市長 穂積 志氏 秋田県老施協 会長 萱森真雄氏 ○特別講演：「今後の社会福祉法人改革と軽費老人ホームについて」 講師：厚生労働省東北厚生局福祉指導課 課長 内山 徹氏 ○基調講演：「地域包括ケア時代の軽費老人ホームのあり方について」 講師：(一般社団)全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西基雄氏 ○研究発表：3施設 ①軽費老人ホームA型蔵王やすらぎの里(山形県) ②ケアハウスウエルフェア慈光園(山形県) ③ケアハウス土崎(秋田県) ※ブロック代表として蔵王やすらぎの里を選出 ○分科会 ①第1分科会「施設の運営・管理」 ②第2分科会「地域包括ケアシステムの構築」 |

| | | | |
|--|--|--|---------------------|
| | | | ③第3分科会「利用者の生活支援と看護」 |
|--|--|--|---------------------|

(3)関東ブロック

i 振り返りと次年度への課題

今年度も事業計画通りに役員会、研修等の事業並びに社員への情報提供ができました。しかし、研修の参加人数が依然低く、限られた社員への研修会となっております。次年度に向かっては、頼りになる全軽協を目指して研修会の参加人数を増やすなどの取組が必要であります。

2、重点事項

- ①社員間の連絡網見直し…メールアドレス・ファクス番号の追加変更管理
- ②セミナーの開催…職員発表会。経営スキルアップ（財務面から見た再投資管理）など

ii 会議(総会・役員会・その他)

| 会議名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|---------|----------|------------------------|---|
| 第1回 役員会 | 27年6月4日 | 東京都 ハロー会議室東京 八重洲 | 総会準備 |
| 第2回 役員会 | 27年8月21日 | 東京都 アルデア市ヶ谷 | 総会準備 入会、退会施設について等 |
| 第1回 総会 | 27年8月21日 | 東京都 アルデア市ヶ谷 | 平成26年度事業報告(案)並びに決算書(案)の承認について |
| 第3回 役員会 | 28年1月22日 | 東京都 アルデア市ヶ谷 | 総会準備 役員改選等 |
| 第2回 総会 | 28年1月22日 | 東京都 アルデア市ヶ谷 | 平成28年度事業計画(案)並びに予算書(案)の承認について 平成27年度事業報告並びに決算(見込み)書の承認について 役員改選 |

iii 研修

| 研修名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|----------------|----------|----------------|--|
| 第1回セミナー | 27年8月21日 | 東京都 アルデア市ヶ谷 | 講義 「軽費・ケアハウスが知る医療知識」 医療法人社団ディーオーアイ 土居内科医院 副院長 土居良康 様 参加者 37名 |
| 関東ブロック 研究大会 | 27年8月21日 | 東京都 アルデア市ヶ谷 | 事例発表 ① 軽費老人ホーム ニュー鹿島 生活相談員 西隈誠一様他2名 「社会福祉法人すはま会 家族の会」 |

| | | | |
|------------------|---------------------|------------------|--|
| | | | ② ケアハウス 白寿の里 主任生活相談員 柴田ケイ様 「自立支援・介護予防を目的とした施設運営と地域防災協定を踏まえた地域との連携の現状」 ③ 浴風会ケアハウス 生活相談員 隈本真司様 「自由を守るための試み」 パネルディスカッション 参加者 37名 |
| 第2回セミナー | 28年2月12日 | 東京都 アルカディア市ヶ谷 | セミナー 「中長期経営計画と建替え計画」 一般財団法人 総合福祉研究会 代表理事、 監査法人彌榮会計社 代表社員 公認会計士、税理士 林 光行様 参加者24名 |
| 全国職員研究会 議への派遣 | 27年11月26日 11月27日 | 東京都 TOC 有明 | 全国職員研究会議への参加と関東ブロック 代表者の派遣 |

(4)東海北陸ブロック

i 振り返りと次年度への課題

全国軽費老人ホーム協議会と歩調を取ると共に、特にブロックにおいては研修会を通じ、地域包括ケア時代の軽費・ケアハウスが果たす機能役割について、生活支援及び地域交流・地域貢献を中心としたテーマで実践発表を行い、今後の様々な課題の取り組みに向けて学ぶことができました。

ii 会議(総会・役員会・その他)

| 会議名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|--------|----------|--------|---------------|
| 第1回役員会 | 27年7月29日 | 東京都半蔵門 | 27年度事業報告、収支報告 |
| 第2回役員会 | 28年2月19日 | 福井市 | 28年度事業計画、収支予算 |

iii 研修

| 研修名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|----------------------|-----------------|--------|---|
| 東海北陸ブロック 施設長・職員研修 | 27年9月24～ 25日 | 三重県 賢島 | 理事長講演、外部講師講演、各県代表による事例発表 【講演 I 基調講演】 全国軽費老人ホーム協議会 理事長川西基雄氏 |

| | | | |
|--|--|--|---|
| | | | <p>【講演Ⅱ 主題講演】 社会福祉法人三重ベタニヤハウス 理事長 村上 久氏 「高齢者の心のケア(メンタルスピリチュアルケア)」</p> <p>【事例研究発表】 ○高田ケアハウス (三重県) 「地域を活用した生活支援～積極的な地域参加へ」 ○軽費老人ホーム百々鶴荘 (石川県) 「お知恵拝借」 ○軽費老人ホーム一期一会荘 (愛知県) 「介護予防教室から広がる地域交流と地域貢献」 ○ケアハウスそよかぜの郷 (富山県) 「心と心をつなぐ地域交流をめざして」 ○ケアハウスベルツリー (岐阜県) 「自立支援への取り組み」 ○ケアハウス清水苑 (福井県) 「本当の地域福祉とは？～笑顔でつながる地域福祉の架け橋に～」</p> |
|--|--|--|---|

(5)近畿ブロック

i 振り返りと次年度への課題

平成27年度は、生活支援発表会を近畿老人施設協議会軽費部会と合同での開催することで、発表者・参加の増加となり、その中から入会していただいた施設もあった。平成28年度も他の団体との連携を深め会員増強を図るとともに充実した内容の研修等を行い、軽費老人ホームの役割や専門性の向上を行います。

消費増税の対応は、ブロック内において生活費および事務費補助金の改定の有無に大きな差があります。各府県において情報の共有を行い行政への働きかけを引き続き行います。

ii 会議(総会・役員会・その他)

| 会議名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|-----|---------|-----|-----------------------------------|
| 役員会 | 27年4月6日 | 大阪府 | 26年度収支報告、セミナー内容、27年度生活支援実践発表会について |
| 総会 | 27年5月1日 | 大阪府 | 26年度事業・決算報告 |
| 役員会 | 28年3月1日 | 大阪府 | 27年度収支報告及び28年度事業計画・予算 |

| | | | |
|--|--|--|------------------------------|
| | | | (案) について 28年、29年度役員改選について |
|--|--|--|------------------------------|

iii 研修

| 研修名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|---------|-----------|------------------------------|--|
| セミナー | 27年5月1日 | 大阪府 大阪府社会 福祉指導セン ター | <ul style="list-style-type: none"> ・情勢報告 (一般社団)全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西基雄氏 ・講演「福祉機器の導入について」 関西シルバーサービス協会 記虎孝年氏 |
| 生活支援研修会 | 27年10月13日 | 大阪府 大阪リバーサイ ドホテル | <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション ・生活支援実践発表会 軽費老人ホームヴィラ城陽(京都府) 軽費老人ホーム延命荘(大阪府) 軽費老人ホームふじの里(大阪府) *<u>ブロック代表として延命荘を選出</u> ・講義「軽費老人ホームにおけるソーシャルワークに ついて」 龍谷大学 教授 西川淑子氏 |

(6)中国ブロック

i 振り返りと次年度への課題

今後の地域包括ケアシステム時代の中で、軽費・ケアハウスがこれまでに蓄積してきたノウハウを活かし果たす役割(地域貢献など)について事例発表を通じて再確認できた。

課題としましては職員対象(職種別など)の研修会が総会・セミナー以外では開催できなかった。

ii 会議(総会・役員会・その他)

| 会議名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|--------|------------|-----------------------|---|
| 第1回役員会 | H27年6月25日 | Y I C ビジネス アート専門学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度決算・事業報告 ・H27年事業活動 |
| 第1回総会 | H27年6月25日 | Y I C ビジネス アート専門学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度決算・事業報告 ・報告事項 |
| 第2回役員会 | H27年10月23日 | 広島マツダビル | ・事例発表確認(中国ブロック・全国大会) |
| 第3回役員会 | H28年3月4日 | 山口グランドホ テル | ・H28年度中国ブロック活動その他 |
| 第2回総会 | H28年3月4日 | Y I C ビジネス アート専門学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度事業計画 ・新年度役員選出 ・報告事項 |

iii 研修

| 研修名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|----------------|------------|-----------------------|---|
| セミナー | H27年6月25日 | Y I C ビジネス アート専門学校 | 『(軽費老人ホームにおける生活困窮者等による利用者支援のあり方に関する調査研究事業) について』 ・(一社) 全軽協 里山副理事長 (調査委員長) |
| 中国ブロック実践事例発表大会 | H27年10月23日 | 広島マツダビル | ・実践事例発表 ケアハウス 武久苑 (山口県) 軽費老人ホーム 玉真園 (鳥取県) ケアハウス 楽生苑 (広島県) 軽費老人ホーム コーポまとば(広島県) *ブロック代表として玉真園を選出 |
| セミナー | H28年3月4日 | Y I C ビジネス アート専門学校 | 「利用者への尊厳と自立支援」～施設における権利擁護システムの構築について～ ・山口芸術短期大学保育学科 (介護福祉コース) 講師 伊勢嶋 英子 氏 |

(7) 四国ブロック

i 振り返りと次年度への課題

平成27年度は、介護報酬改定に伴う影響を考慮し、施設の経営面での学びを中心に社員一同意識向上に努めた。また、地域公益事業が開始される29年度に向けて、様々な地域に向けた取り組みなども紹介した。

ii 会議(総会・役員会・その他)

| 会議名 | 実施開催月 | 開催地 | 内容 |
|-----|----------|-----|--|
| 役員会 | 27年5月21日 | 高知 | ・平成27年度報告・決算(案)について ・平成27年度第1回四国ブロックセミナー ・総会の開催(案)について |
| 総会 | 27年5月21日 | 高知 | ・平成27年度報告・決算(案)について |
| 役員会 | 27年9月3日 | 香川 | ・四国ブロック実践発表会・セミナーについて ・全国実践発表大会について ・消費増税対応について |
| 役員会 | 28年3月10日 | 香川 | ・28年度四国ブロック事業計画(案)について ・役員改選(案)について |
| 総会 | 28年3月10日 | 香川 | ・28年度事業計画・予算(案)について ・役員改選(案)について |

iii 研修

| 研修名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|-----|-----|-----|----|
|-----|-----|-----|----|

| | | | |
|-----------|-----------|----|--|
| 第1回セミナー | 27年6月2日 | 高知 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演：「地域公益事業（ユニバーサルカフェ）の先駆的モデル事業について」 ・講師：（社福）あさがお福祉会 保岡 伸聡 氏 ・全国情勢報告：全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西 基雄氏 |
| 実践発表選考会 | 27年9月3日 | 香川 | <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛（ケアハウスオリーブ） ・高知（ケアハウス集家） ・香川（ケアハウス城山） ・徳島（ケアハウスまこと） |
| 第2回合同セミナー | 27年12月16日 | 香川 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義：「経営者が知っておくべき人事育成の極意」 ・講師：（株）日本経営 取締役 堀田 慎一 氏 ・講師：「地方創生にかかる今後の軽費老人ホームの事業展開について」 ・講師：宮城県岩沼市参事（厚生労働省）家田康典 氏 |
| 第3回合同セミナー | 28年3月10日 | 香川 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演：「平成27年度国庫補助事業（中間）報告並びに軽費・ケアハウスの個別支援計画について」 ・講師：一般社団法人全国軽費老人ホーム協議会 副理事長 里山 樹 氏 ・講演：「24時間シート ケア特定版」「介護保険改正で注目されたりハビリについて」「ケアハウス入居率アップについて」 ・講師：社会福祉法人駿河会 施設長 玉田 直文 氏 晃の園介護統括部長 杉山 結子 氏 ラポーレ駿河在宅部長 村田 雄二 氏 晃の園 事務長 窪野 利明 氏 |

(8)九州ブロック

i 振り返りと次年度への課題

平成27年度は軽費老人ホームが抱える困難事例についての検討や施設運営に必要な不可欠なリスクマネジメントについてセミナーを通して、専門家からのアドバイス、意見交換を行い、社員施設の課題を解決することを目的に活動を実施した。次年度以降も、施設運営上の課題や軽費老人ホームの機能向上のため、タイムリーな情報提供や共有、セミナーを実施する。

ii 会議（総会・役員会・その他）

| 会議名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|-----|----------|------------|------------------------|
| 総会 | 27年6月24日 | IPシティホテル福岡 | ・平成26年度事業報告及び決算（案）について |
| 総会 | 28年3月15日 | IPシティホテル | ・平成28年度事業計画及び予算（案）について |

| | | | |
|-----|----------|-----------------|---|
| | | ル福岡 | <ul style="list-style-type: none"> ・全軽協九州ブロック会則の改正について ・全軽協九州ブロック役員会の改正について |
| 役員会 | 27年5月26日 | JR 博多シティ 福岡 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度事業計画及び決算(案)について ・役員任期満了に伴う改選について |
| 役員会 | 27年11月6日 | IP シティホテル 福岡 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度全国職員研究会議について ・全軽協九州ブロック理事・役員会の改選について |
| 役員会 | 28年2月4日 | IP シティホテル 福岡 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業計画ならびに予算(案)について ・平成27年度総会・セミナーについて ・全軽協九州ブロック会則の改正について ・全軽協九州ブロック役員会の改正について |
| 役員会 | 28年3月15日 | IP シティホテル 福岡 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度第2回総会・セミナーについて ・全軽協九州ブロック会則の改正について ・全軽協九州ブロック役員会の改正について |

iii 研修

| 研修名 | 開催月 | 開催地 | 内容 |
|-----------------|----------|-----------------|---|
| セミナー | 27年6月24日 | IP シティホテル 福岡 | <ul style="list-style-type: none"> ○基調講演 「地域包括ケアシステムにおける軽費老人ホームの役割・あり方に関する調査研究の報告について」 全国軽費老人ホーム協議会 副理事長 里山 樹 氏 ○セミナー 「軽費老人ホームにおけるリスクマネジメントについて」 翼・篠木法律事務所 弁護士 篠木 潔 氏 |
| セミナー (九社連合同) | 27年12月4日 | ホテルセント ラーザ博多 | <ul style="list-style-type: none"> 「軽費・ケアハウスにおける困難事例について」 伊井和彦法律事務所 弁護士 真下 美由起 氏 |
| セミナー | 28年3月15日 | IP シティホテル 福岡 | <ul style="list-style-type: none"> ○基調講演 「全国軽費老人ホーム協議会活動報告ならびに情勢報告」 全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西 基雄 氏 ○セミナー 「社会福祉法改正について ～改革の背景と軽費老人ホームへの期待～」 総務省行政評価局 企画官 山田 章平 氏 |